

2022 年 12 月 16 日

*** 2023 年（令和 5 年） ***

ビジネスパーソンの年賀状に関するアンケート調査

株式会社パイロットコーポレーション（社長：伊藤 秀）は、日本のお正月の習慣で手書き文化の象徴とも言える年賀状をテーマに、毎年『ビジネスパーソンの年賀状に関するアンケート調査』を行っています。年賀状は普段会えない人へのコミュニケーション手段として、様々なツールが登場した現在も、一定の支持を集めています。今回で 43 回目となる本調査は、ビジネスパーソンを対象に、11 月 17 日（木）から約 3 週間にわたり調査を実施しました。主な調査結果は下記となりました。

【主な調査結果】

1. 年賀状を「出す」人は昨年よりも減少し、回答者の約半数に留まる。「出す」理由は、「新年の挨拶」。「出さない理由」は、「LINE 等メッセージアプリで代用」。
2. 年賀状を出す枚数は平均「36 枚」で過去 5 年の調査でもっとも少ない結果に。それでもいまだにもらってうれしい新年の挨拶は「年賀状」。
3. 年賀状をもらってうれしい相手は「友人・知人」。もらってうれしい年賀状は「手書きのコメント」や「家族や子どもなどの写真」が入っているもの。年賀状で気になる箇所は「添えられたメッセージの内容」。
4. 年賀状を出す相手は「友人・知人」が多数。「出たくない人」は仕事関係が上位に。
5. 年賀状を出す人のほとんどが「手書き箇所あり」。出す相手に合わせて書ける「手書き」意向が高まる。年賀状の手書きは相手への気持ちを伝える方法。手書きが無いと DM みたいという声も。
6. 「年賀状が必要」という声は減少傾向にあるが、「年賀状」は現在も支持を集めている。

【アンケート実施概要】

調査期間 : 2022 年 11 月 17 日(木)～12 月 8 日(木)

サンプル数(概数) : 405 人

年代別サンプル比 :

年齢	男性	女性	合計
20 代	48	40	88
30 代	35	63	98
40 代	52	53	105
50 代	36	34	70
60 代	30	14	44
計	201	204	405

調査対象 : 企業・団体等に勤務する 20 代～60 代のビジネスパーソン

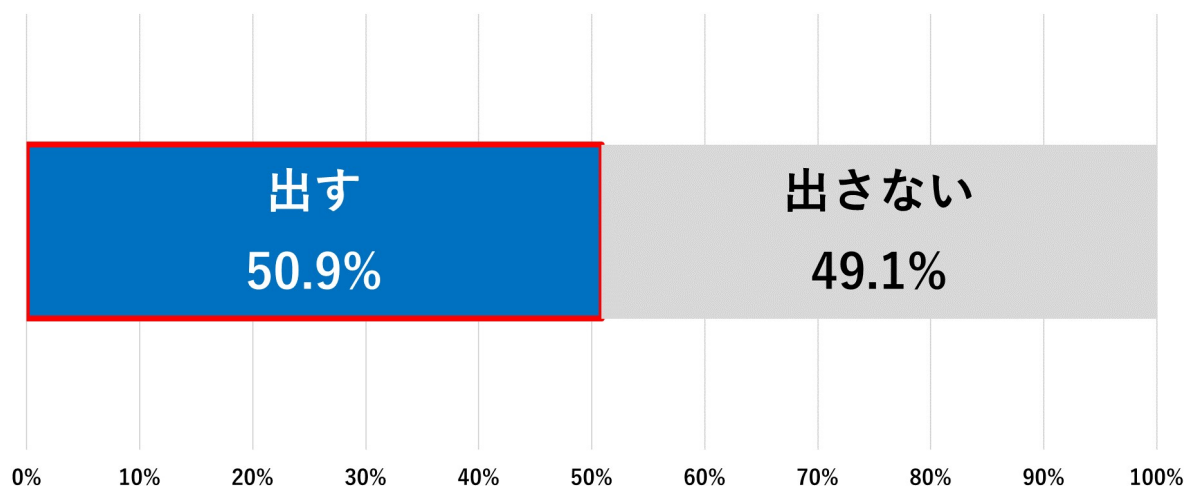
調査方法 : 質問用紙の配付・回収による無記名留置調査

- * 集計データのうち注釈なきものはすべて単数回答を百分率化しました。
- * 単一回答でも小数点の都合上合計値が 100%にならないものもあります。
- * 複数回答可の設問では合計値が 100(%)を超えます。

1. 年賀状を「出す」人は昨年よりも減少し、回答者の約半数に留まる。「出す」理由は、「新年の挨拶」。「出さない理由」は、「LINE 等メッセージアプリで代用」。

2023 年の年賀状を出すかどうかを尋ねた＜年賀状の予定 1-1＞では、2023 年は年賀状を「出す」と答えた人は 50.9%となり、約半数の人が「出さない」という結果となりました。年賀状を「出す」と回答した人は前回 2022 年調査の 65.6%から 15 ポイント減少しました。

1-1.来年、年賀状（郵便）を出す予定ですか？（単一回答 N=405）



1-2. 年賀状を出す理由（N=206）、出さない理由（N=199）

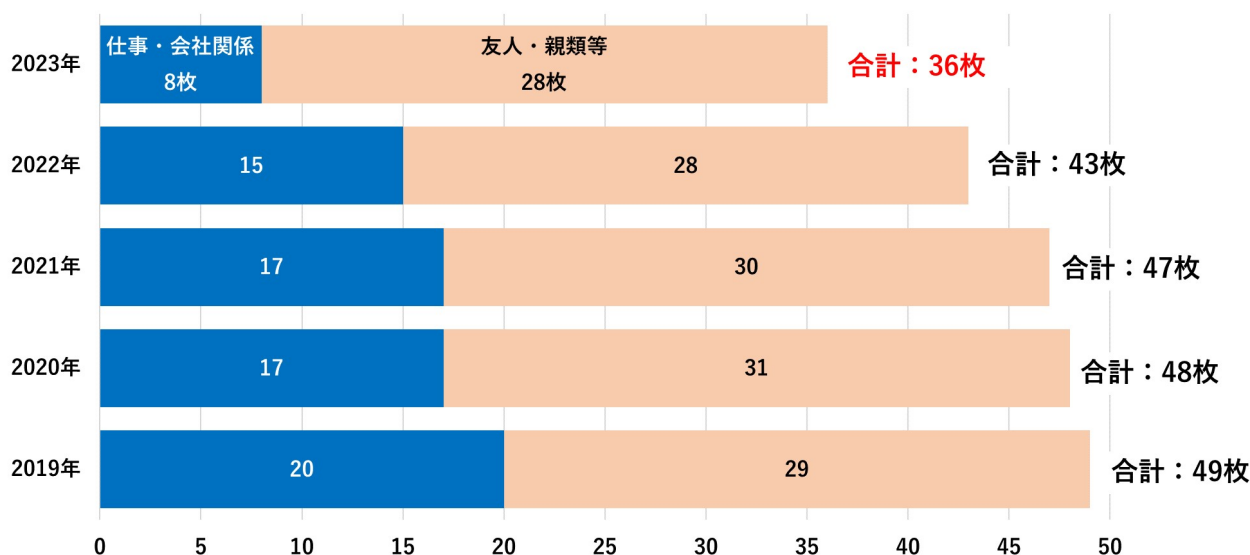
	出す理由		出さない理由	
第1位	新年の挨拶として	73.3%	LINE等メッセージアプリで代用	69.3%
第2位	日頃、御無沙汰しているので	42.2%	準備が面倒	52.3%
第3位	毎年、年賀状をもらうので	37.4%	出す習慣がない	24.6%
第4位	近況報告	24.8%	メールで代用	23.6%
第5位	親しさを表すしるしとして	21.8%	出す相手がいない	22.1%
第6位	手紙をやり取りする貴重な機会	19.9%	相手の住所がわからない	21.1%
第7位	習慣で・なんとなく	19.4%	SNSで代用 (Facebook,twitter,instagram等)	18.1%
第8位	お世話になっている（なった）ので	18.0%	忙しくて用意できない	15.1%
第9位	義理・しがらみで	13.1%	喪中	7.0%
第10位	年賀状をもらうのが好き	11.7%	郵便代などコストがかかる	6.5%

＜年賀状を出す理由 1-2＞では、「新年の挨拶として」(73.3%)、「日頃、御無沙汰しているので」(42.2%)が上位になり、次いで、「毎年、年賀状をもらうので」(37.4%)が数を集めました。一方、＜年賀状の予定 1-1＞で、年賀状を「出さない」と答えた人に＜年賀状を出さない理由 1-2＞を聞いてみると、「LINE 等メッセージアプリで代用」(69.3%)が昨年より 4.4 ポイント増加し、LINE 等のメッセージアプリが年賀状に代わる手段として広がっていることが伺えます。また、昨年調査で年賀状を出す理由の 3 位だった「コロナ禍で会えていないから」は今回はランク外となりました。

2. 年賀状を出す枚数は平均「36 枚」で過去 5 年の調査でもっとも少ない結果に。それでもいまだにもらってうれしい新年の挨拶は「年賀状」。

＜年賀状を出す枚数 2-1＞は、平均「36 枚」となり、ここ 5 年の調査で最も少ない結果になりました。友人・親類等の枚数は昨年と変わらず「28 枚」であるものの、仕事・会社関係が「8 枚」と減っていることが分かりました。これは同僚の住所を知らないなどの要因も考えられます。なお、今回の調査での年賀状を出す予定枚数の最多は 40 代男性の「200 枚」となりました。

2-1. 年賀状の枚数は、何枚くらいを予定していますか？（数値自由回答 N=206）



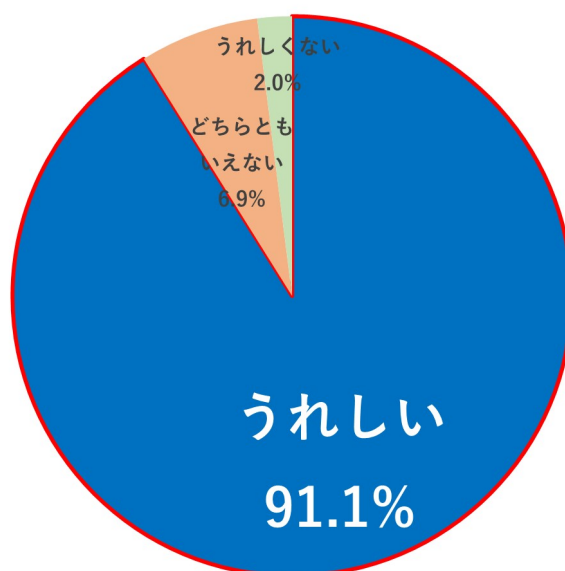
そんな中、＜新年の挨拶で一番うれしい方法 2-2＞を尋ねると、「年賀状」(67.2%)がトップになりました。年賀状を出す人は減っているものの、「年賀状」は今でももらうとうれしい新年の挨拶であることが分かりました。

2-2. 新年の挨拶で、一番もらってうれしいのはどの方法ですか？（複数回答N＝405）

第1位	年賀状	67.2%
第2位	LINE等メッセージアプリ	50.4%
第3位	メール	20.2%
第4位	電話	14.3%
第5位	その他	9.8%
第6位	Twitter	5.9%
第7位	Facebook	4.0%
第8位	Instagram	4.0%
第9位	YouTube/Tiktok等 動画共有アプリ	0.5%

実際に＜年賀状が届くとどう感じるか 2-3＞を聞いてみると、9割以上の人が「うれしい」(91.1%)と回答し、年賀状をもらうことは今でもうれしいと感じる人が多いようです。

2-3. 年賀状が届くとどう感じますか？（複数回答N＝405）



3. 年賀状をもらってうれしい相手は「友人・知人」。もらってうれしい年賀状は「手書きのコメント」や「家族や子どもなどの写真」が入っているもの。年賀状で気になる箇所は「添えられたメッセージの内容」。

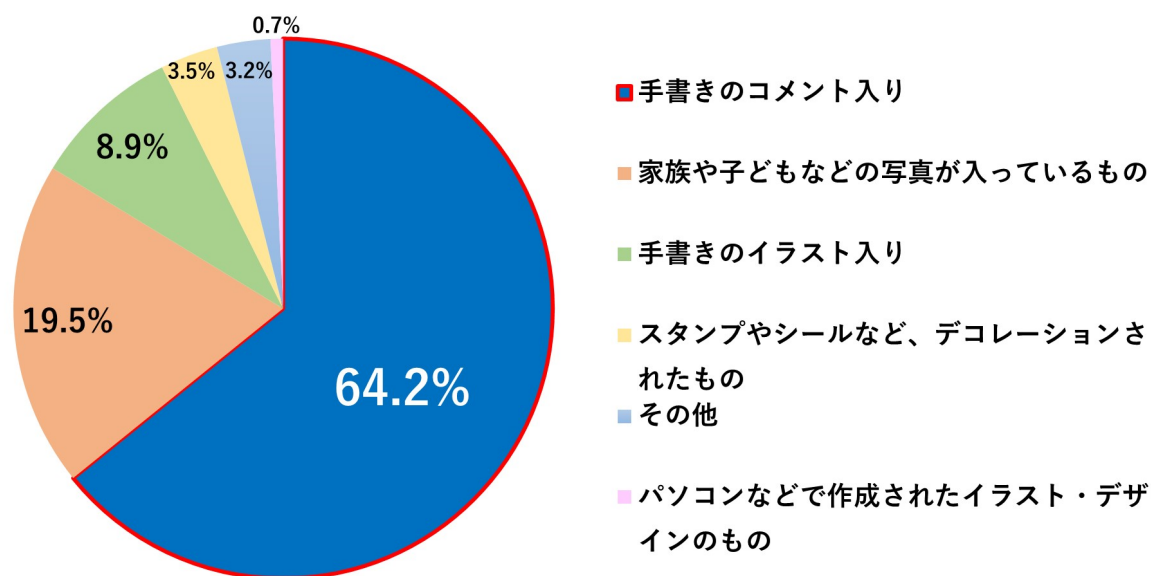
具体的に＜年賀状をもらって一番うれしい相手 3-1＞を聞いてみると、「友人・知人」(58.0%)がトップで、次いで「親類関係」(9.6%)、「特にない」(7.7%)という結果になりました。

3-1. 誰からもらう年賀状が一番うれしいですか？（単一回答 N=405）

第1位	友人・知人	58.0%
第2位	親類関係	9.6%
第3位	特にいない	7.7%
第4位	恩師・恩人	7.2%
第5位	学生時代の先輩・後輩	6.9%
第6位	社外の仕事関係者	3.2%
第7位	息子・娘・孫	2.5%
第8位	その他	1.7%
第9位	彼・彼女	1.5%
第10位	会社等の同僚・後輩	1.2%

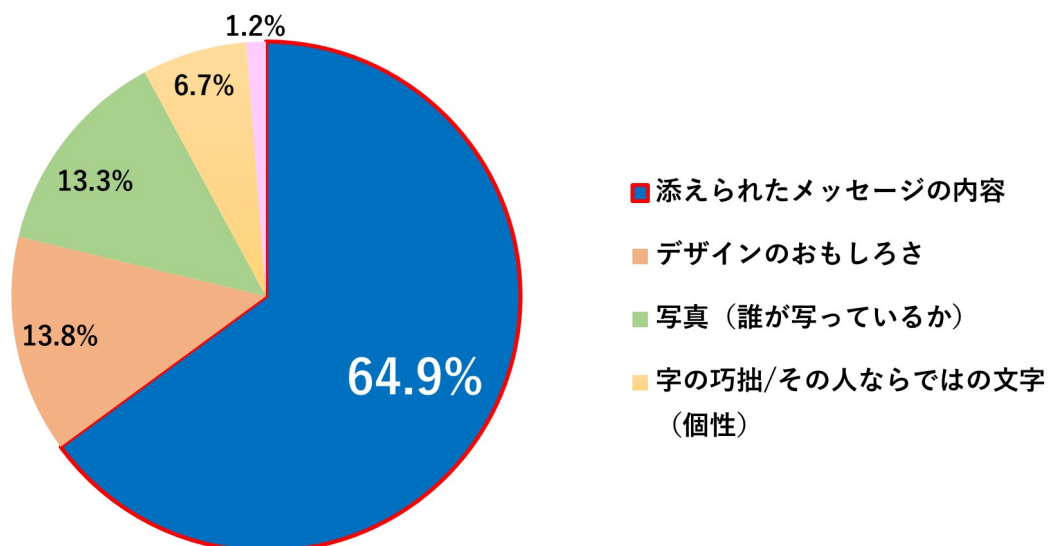
また、＜届いてうれしい年賀状のタイプ 3-2＞を聞いてみると、「手書きのコメント入り」(64.2%)が全体で6割を超え、手書きコメント入りの年賀状の人気の高いことがわかりました。次いで、「家族や子どもなどの写真が入っているもの」(19.5%)も人気があることがわかりました。

3-2. 届いてうれしい年賀状のタイプはなんですか？（単一回答 N=405）



また＜届いた年賀状のどこが一番気になるか 3-3＞では、「添えられたメッセージの内容」(64.9%)がトップになり、手書きでメッセージを添えるタイプの年賀状が人気であるようです。

3-3. 届いた年賀状のどこが一番気になりますか？（単一回答 N=405）



4. 年賀状を出す相手は「友人・知人」が多数。「出したくない人」は仕事関係が上位に。

＜誰に年賀状を出すか 4-1＞を尋ねると、「友人・知人」(97.1%)がトップになり、「親類関係」(75.7%)、「恩師・恩人」(27.2%)が次いでランクインしました。5 位以下には「会社等の上司」(22.3%)や「取引先」(22.3%)など仕事関係の人に票が集まりました。

4-1. 誰に年賀状を出しますか？（複数回答 N=206）

第1位	友人・知人	97.1%
第2位	親類関係	75.7%
第3位	恩師・恩人	27.2%
第4位	学生時代の先輩・後輩	25.7%
第5位	会社等の上司	22.3%
第6位	取引先	22.3%
第7位	会社等の同僚	20.4%
第8位	部下	8.3%
第8位	年賀状友達	8.3%

また、＜できれば年賀状を出したくない相手 3-2＞について聞いてみると、「出したくない人はいない」(54.1%)がトップになりました。実際に「出したくない相手」としてあがったのは、毎年恒例とも言える「会社等の上司」(33.8%)がトップになりました。次いで、「会社等の同僚」(23.2%)、「取引先」(22.0%)など、2 位以降は仕事に関する項目が 5 位まで続きました。

4-2. できれば年賀状を出したくない相手は誰ですか？（複数回答N=405）

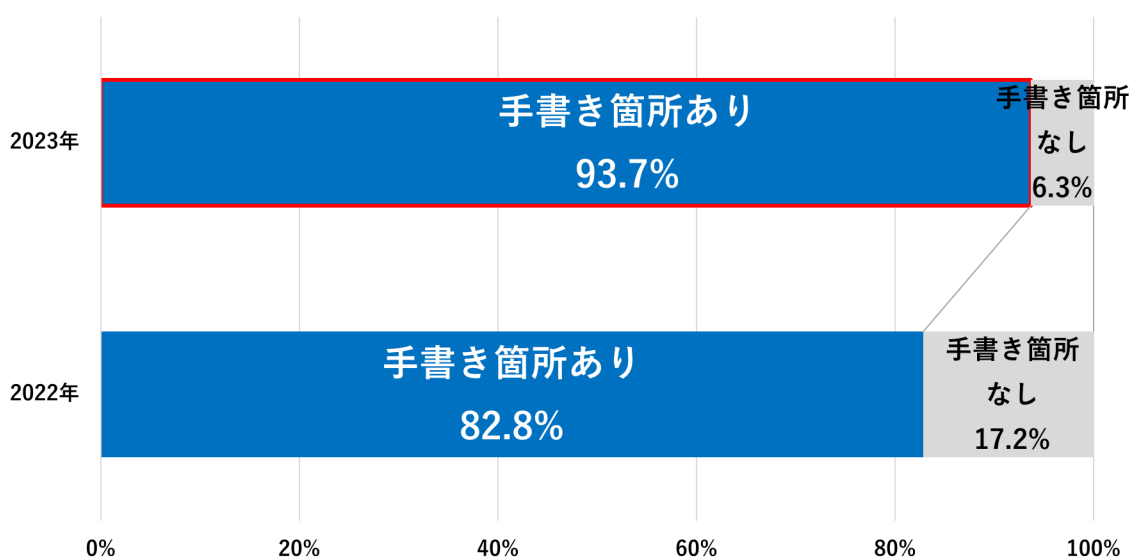
参考：2022年

第1位	出したくない人はいない	54.1%	38.3%
第2位	会社等の上司	33.8%	37.5%
第3位	会社等の同僚	23.2%	19.7%
第4位	取引先	22.0%	38.3%
第5位	部下	16.5%	12.6%
第6位	年賀状友達	6.4%	1.6%
第7位	親類関係	4.2%	5.0%
第8位	彼・彼女	4.0%	-
第9位	学生時代の先輩・後輩	3.5%	-
第10位	恩師・恩人	2.5%	-

5. 年賀状を出す人のほとんどが「手書き箇所あり」。出す相手に合わせて書ける「手書き」意向が高まる。年賀状の手書きは相手への気持ちを伝える方法。手書きが無いと DM みたいという声も。

＜年賀状の手書き箇所の有無 5-1＞について、年賀状を出す予定（N=206）の人のほとんどが「手書き箇所がある」（93.7%）と回答しました。昨年よりも 10.7 ポイント増加し、手書き意向は高まっているようです。年賀状を出す枚数は減少傾向が続きますが、例年約 9 割の人が「手書き箇所あり」と回答しており、手書きのメッセージを添えるなど今でも年賀状を出す人のほとんどが手書きを重視しているようです。

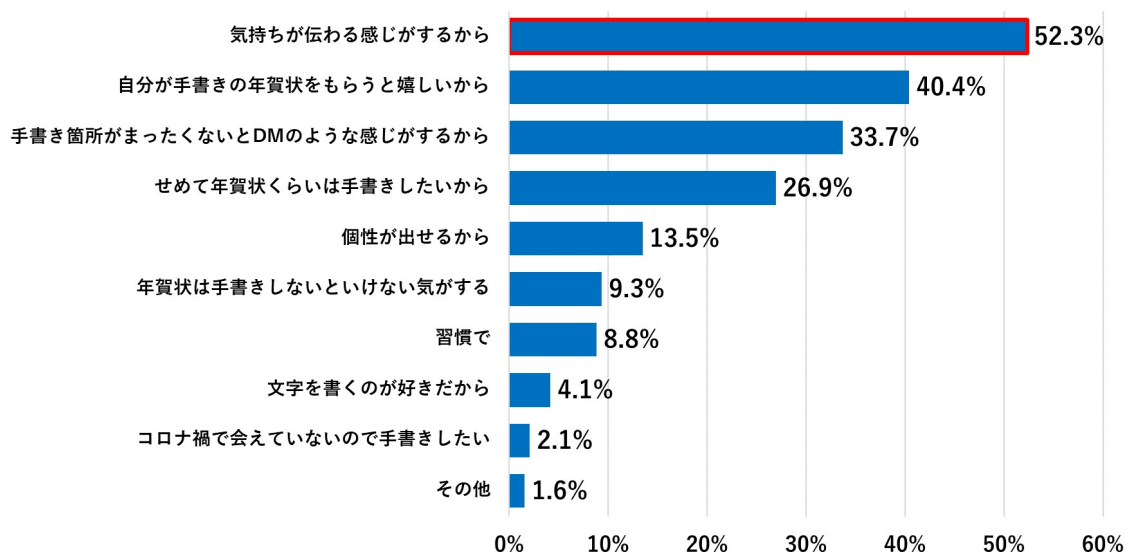
5-1. あなたが出す年賀状で手書きする箇所はありますか？（単一回答2023年N=206/2022年N=250）



また、＜手書き箇所がある 5-1＞と答えた人（N=193）に、＜手書きする理由 5-2＞を聞くと、「気持ちが伝わる感じがするから」（52.3%）、次いで「自分が手書きの年賀状をもらって嬉しいから」（40.4%）、「手書きの箇所がま

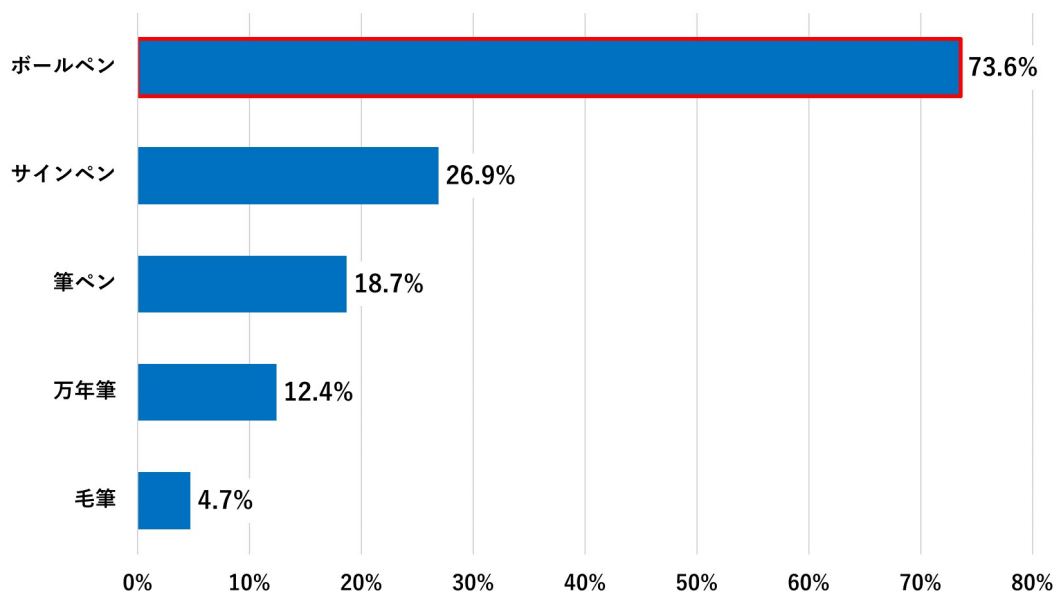
ったくないとDMのような感じがするから」(33.7%)と回答し、手書きは相手に気持ちを伝える方法として考えている人が多いことがわかりました。

5-2. あなたが年賀状を手書きする理由はなんですか？（複数回答 N=193）



実際に、＜手書きに使う筆記具はなにか 5-3＞という質問では、インキの色や種類も豊富な「ボールペン」が73.6%と多くを占め、次いで「サインペン」(26.9%)、筆ペン(18.7%)が続きました。

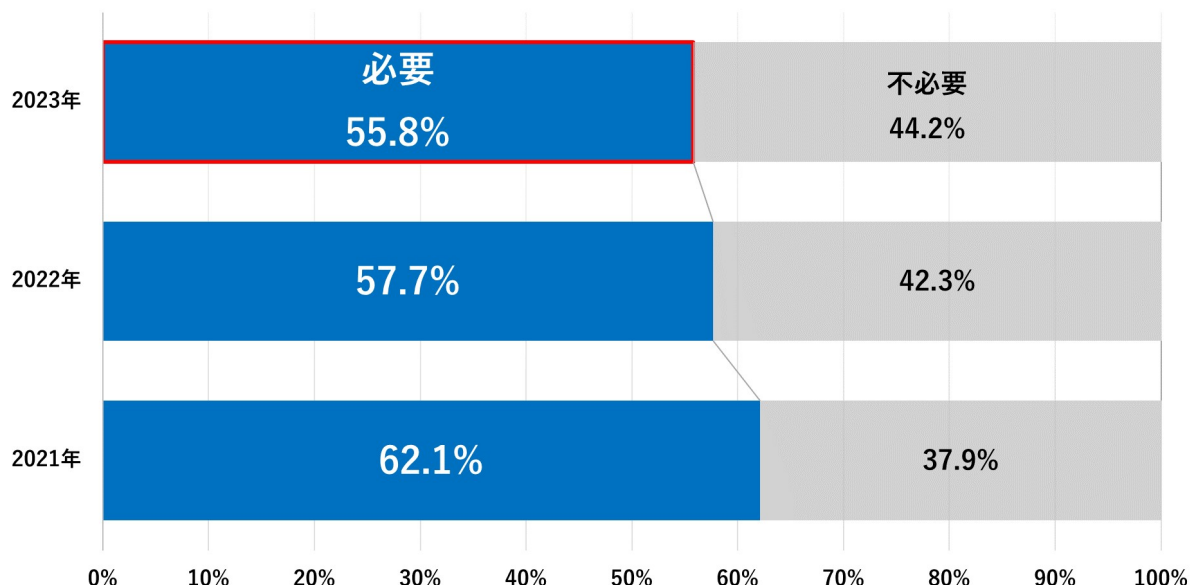
5-3. あなたが年賀状を手書きに使う筆記具はなんですか？（複数回答 N=193）



6. 「年賀状が必要」という声は減少傾向にあるが、「年賀状」は現在も支持を集めている。

＜今後、年賀状の習慣は必要か 6-1＞について尋ねたところ、55.8%の人が「必要」と答え、毎年連続で減少しているものの、いまだ半数以上が年賀状を支持している現状がわかりました。

6-1. 今後年賀状の習慣は必要だと思いますか？（単一回答 N=405）



また、それぞれの理由を聞いてみると、「必要」(N=226)と答えた人の中で、「年賀状をもらうと嬉しい」(57.5%)、次いで「会えない人との連絡が途絶えてしまい困る」(39.8%)、「お正月らしくなくて寂しい」(37.2%)、「日本の伝統や独自の文化が衰退してしまいそうで心配」(34.5%)という声がありました。年賀状は年末年始の風物詩でありながら、もらってうれしいもので、親しい人との挨拶ができるツールとして考えられているようです。また、「不必要」(N=179)と答えた人の理由を聞くと、SNS 等別の手段で代用できることや準備の手間やコスト、年賀状を出す出さないの人間関係を理由に「不必要」と考えているようです。

6-2. 今後年賀状の習慣は必要／不必要な理由はなんですか？（複数回答 N=405）

年賀状の習慣があった方がいいと思う理由 (N=226)		
1位	年賀状をもらうと嬉しい	57.5%
2位	会えない人との連絡が途絶えてしまい困る	39.8%
3位	お正月らしくなくて寂しい	37.2%
4位	日本の伝統や独自の文化が衰退してしまいそうで心配	34.5%
5位	その他	8.0%

年賀状の習慣が不必要だと思う理由 (N=179)		
1位	SNS等別の手段で新年の挨拶を送るので問題ない	64.8%
2位	準備する手間が省けて楽になる(時間やコスト等)	43.6%
3位	「出すor出さない」といった人間関係で悩まなくてすむ	33.5%
4位	相手の住所がわからない	14.0%
5位	その他	8.9%